


『舟を編む』

- 辞書作りの裏側
  - 主人公・馬締光也
    - 辞書編集部に配属
    - 新しい辞書『大渡海』の編纂
  - 

    辞書作りの過程
    - 意味や用法を徹底的に調査
    - 編集部全員で議論を重ねる
  - 作者・三浦しをん
    - 岩波書店や小学館などで取材
    - 編集作業の細部まで描き込む
- 変わり者たちの人間ドラマ
  - 
    個性的な登場人物
    - ・西岡：お調子者
    - ・馬締：コミュが苦手
    - 不器用ながらも支えあう
  - 辞書編纂＝共通の目標
    - 各人が得意分野を活かして貢献
- 言葉への敬意と愛情
  - 作中での辞書編纂
    - 言葉という大海を航海するための道具を作る営み
  - 
    例：「右」「恋」
    - 誰もが知りながらも説明が難しい
    - 言葉一つひとつに真摯に向きあう
    - ⇒ 言葉の重みと深みを再認識